



大阪医学統計学セミナー 第1回

Osaka Biostatistics Seminar

10月17日 (火)

18:00~19:30



場所

CoMIT 4F 会議室B,C

最先端医療イノベーションセンター

<http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/>

「プラセボを含めた 3群非劣性試験デザイン」

講演者：飛田 英祐 (医療データ科学寄附講座)

概要：

臨床試験において新規治療が既存の治療よりも臨床的に劣らないことを証明する非劣性試験には、分析感度の保証と非劣性マージンの設定という2つのよく知られた問題がある。この問題を解決するために、プラセボを含めることも各種ガイドラインで提案されているが、実用化にはまだ十分な議論が必要な段階である。

今回は、3群非劣性試験デザインの方法論の1つとして、Hida & Tango (2011) の方法を紹介する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科・医学部 医学統計学講座

E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301